

保護者等からの事業所評価の集計結果								
公表								
事業所名		てらびあぱけっと高松香西教室						
公表日		令和8年10月20日		児童数		35		
集計日		令和8年9月30日		回収数		27		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1			人数が多いときはもう少し広いスペースだったら良いと思う 大人からすると個室や廊下が狭く圧迫感があるが特性のある子は逆に落ち着くのかもしれない 遊ぶ時 集中出来ているときと区別ができておりいいと思う	今後も環境面を工夫し、安心して過ごせる空間づくりに努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24			3	急な職員減の時も対応してくれているので不安はない 色々なせんせいがおり楽しく通えている 個別療育に感謝している	個別療育を大切に、安心できる支援に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1				職員全員で毎日清掃を行っています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1				今後とも定期的にケース会議を行い目標をもったプログラムを作っていきます
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1			先生にお任せしてます 子どもに合った支援が十分に受けられていると思う 個々をしっかりとみしてくれる	個別療育だからできることを一人一人に寄り添い大切にしています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26			1	先生にお任せしてます	発達段階や興味関心に応じたプログラムをさらに充実させていきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	1			先生にお任せしてます	気軽に相談できる環境づくりを大切に、セラピーに反映させていこうと思います
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1		1	先生にお任せしてます 保護者の意見もしっかり組み入れてくれているので助かる 要望にしっかり対応してくれている 子どもの様子をしっかりと観察し適した支援やアドバイスがもらえて助かっている 家族支援で話を聞いてくれている 相談後すぐにアドバイスや答えをくれるのでとても助かっている	保護者の皆様の声に寄り添い丁寧な支援につとめます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27				先生にお任せしてます その時に応じて支援を変えて行ってくれている（機嫌がわるいなど）	お子様の状況に合わせた柔軟な支援に努めてまいります
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25			2	先生にお任せしてます 子どもの好きな物を取り入れてくれたり工夫してくれている 本人のできることで苦手をしっかりと見極めて成長が感じられている	お子さまの好きなことや得意・苦手を把握し、個々に合わせた支援を工夫してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	3	9		教室の特性上、他の施設のお子様との交流は難しい
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27					

保 護 者 へ の 説 明 等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23			4	アドバイスもしてもらい その後の経過も気にかけてくれる 気軽に相談出来、支援の仕方も教えてもらっている	貴重なお時間を家族支援にあてていただきありがとうございます 今後ABAを皆さまに学んで頂きご家庭で活かして頂きたいと思います
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27				情報共有ができている 普段から子どもの状況を細かく把握、共有してくれていると感じる 出来ることが増えてうれしい	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27				今、困っていることや気になっていることなどいつも沢山時間を使って話ができています 家族支援の彩に悩みや相談ごとを聞き助言してくれている 的確な答えや助言が聞けている	ご家族のお悩みを丁寧に伺い、状況に応じた具体的な助言や支援方法をお伝えしてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27				子どもの成長と一緒に喜んでくれ励みになっている 先生みなさんすばらしい 自分の子どもに対する接し方が間違っているかと悩んでいる時に、頑張っている 間違っていないと否定せずに聞いてくれて助かっている 情報を共有できて大変なことも受け止めてくれて安心感がある	ご家族の思いを受け止め、成長を共に喜びながら安心して相談できる支援を大切にしてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	10	9	きょうだい向けのイベントがあれば参加してみたい 利用して日が浅いので交流の機会があるか分らない 他の親御さんと情報交換や悩みの共有などでできればいいと思う	個人情報に配慮し、相談を受けた内容や対応方法を伝えていくことも検討いたします
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1		2	困っていることや対応方法を相談すると分かりやすく説明してくれている	職員全員で把握し、必要があれば対応策も皆で考えて参ります
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	4	1	15	参観が難しい為、発信してほしい たまにで良いので教室の様子を発信してほしい	なかなか更新ができていませんが、実際に行っている視覚支援などを発信できればとおもいます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24		1	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		5	訓練したとの報告がないのでわからない	個人情報保護に関する研修をしております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		9	訓練したとの報告がないのでわからない 療育中の避難訓練ができればいいと思う	避難訓練は実施しておりますが、周知が十分でなかったため、今後は実施内容を分かりやすくお伝えしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1		3		実際の警察官に来てもらい不審者対応の研修をいたしました
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		4		スマートフォンを導入しLINEなど連絡ができるように心がけています
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1		3	いつもありがたい 毎日「今日はてらびある？」と聞いてきており楽しみにしている	ありがとうございます 今後とも子どもたちの気持ちに寄り添えるように心がけてまいります

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27				すごく楽しみにしている 教室が大好き 毎日、嬉しそうに行く姿をみて 嬉しく思っている 先生たちも明るく信頼感をもっ てお願いできている 楽しんでいっている たまに行き渋りがある	小学校に向けて、どんな状況でも頑張ってきたことをまずは褒め、安心して過ごせるように努めます
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				成長がすごく驚いている 感謝している 大満足 丁寧に本人にあわしたサービスが受け手いると思う 安心しています	ありがとうございます 職員全員で努力し、楽しく学べる大切な場所でいられるよう精進いたします

事業所における自己評価結果						
公表日		令和8年10月20日				
事業所名		てらびあぼけっと高松香西教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		利用人数にあった規模の部屋を使用している	小集団での環境整備も行いスペースの確保はできている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		人数配置基準を上回る人数を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		環境整備がすすんでいる	現在の環境が維持できるように職員全員で取り組み、改善が必要な点は改善していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		場所ごとに使用するおもちゃや道具を決め、子どもたちが選びやすい視覚支援を活用している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		カームダウンなど、必要に合わせて使えるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		ミニカンファを実施している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		アンケートは全員で確認し、改善に向けて行動している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		雇用形態、年齢にかかわらず皆が発言できる場、雰囲気づくりをしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	SVが来てくれることがある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	実際の警察官による研修を行い必要な研修をおこなっている	管理系の研修はきっちり新人向けの支援に関する研修の不足
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		日々のカンファにて情報交換ができています	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		日々のカンファにて情報交換ができています	十分には伝えられていない
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	日々のカンファにて情報交換ができています	カンファ内で個別指導計画も伝えていけるようにする
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々のカンファにて情報交換ができています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に	9		日々のカンファにて情報交換ができています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		日々のカンファにて情報交換ができています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		日々のカンファにて情報交換ができています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		日々のカンファにて情報交換ができています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	日々のカンファにて情報交換ができています	毎日ではできていない

供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		日々のカンファにて情報交換が できている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		ミニカンファの実施 すぐに取り入れるべきプログラムや対応は目標に関わらず対応している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことでの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		参加し、必要なら資料も用意している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		園や進学先の小学校との連携を の積極的にはかっしていきたい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		見学の際、園での様子を聞き、 てらびあでの課題も伝えている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	支援学校への見学の実施	地域の小学校への見学も実施し てきたい
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	9			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		家族支援やフィードバックなどで機会を取っている	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		子どもの現状や課題を保護者と 統一して理解できるように話を するようにしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		日々の家族支援での内容も考慮 し、おききとりシートも活用し ている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		必ず行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	3	6	父母会はなし	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			遅れて返事する場合もある メモをするなど職員全体で把握 する工夫を検討したい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2		現在はあまりできていない 少ない回数でも発信していきたい

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報保護に関する研修を実施した	定期的に実施していきたい
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			実施していることを発信していく必要がある
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			閉室基準などを作成中
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	契約時に確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	食事はしない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			特に、年長児には具体的に伝え保護者と一緒に考えていく必要がある
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		現在身体拘束まではおこなっていない	どこまで座らせるかなど、職員間で一律の対応ができるように確認していきたい

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけっと高松香西教室		
○保護者評価実施期間	R8年 9月 3日 ～ R8 年 9月 26 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R年 9月 3日 ～ R8 年 9月 26 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 10月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの発達段階や特性、興味・関心、得意なことや苦手なことを把握し、個別性を大切にしたい支援を行っていることが大きな強みである。	子どもの状態や目標に応じて活動内容や教材、環境を調整している。 専門性や経験を持った職員がいる	今後も現在の個性性を重視した支援を継続するとともに、子どもの発達段階や興味・関心に応じた支援プログラムをさらに充実させていく。 専門性や経験を行かせる場を作る
2	保護者との情報共有や相談支援を大切にしており、子どもの成長や家庭での困りごとにおいても、「相談しやすい」「子どもにあった支援が受けられている」等の意見があった	職員間では日々のカンファレンスやミニカンファレンスを活用し、子どもの様子や支援方法について情報共有を行っている。支援の振り返りを行い、必要に応じて目標やプログラムに関わらず、その時点で必要な支援を取り入れるなど、柔軟な対応を意識している。	児童発達支援計画の目標や具体的な支援内容について、職員全員がより確実に共通理解できるよう、カンファレンス等での共有方法を工夫していく。
3	活動場所ごとに使用する教材玩具を整理し、子どもが選びやすい環境を整えているほか、子どもの特性に応じた環境調整を行っている。安全面についても避難訓練や不審者対応研修等を実施し職員の安全意識向上に努めている。	保護者との情報共有や相談支援を大切にしており、子どもの成長や家庭での困りごとについて丁寧に話を聞き、具体的な助言や支援方法を伝えることを意識している。	保護者支援については、これまで大切にしてきた相談・助言の機会を継続し、家庭でも実践しやすい具体的な支援方法やABAの考え方について、より分かりやすく情報提供できるよう努める。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の特性上、保育園・幼稚園等や地域の子どもたちと直接交流する機会が十分に設けられていない。	保護者会など地域交流の場合は、事業所の特性から、安全面、個人情報等についての配慮が必要になる	交流会の実施は難しいが、保護者への情報発信と職員間の情報共有をより充実させていく
2	ホームページやSNS等による活動内容の発信が十分ではない 研修を受ける時間の確保	交流を希望しない保護者の声も多い 日々の業務が難しい 療育の質向上	保護者からいただいた意見や相談内容についても職員全体で共有し、支援の改善につなげていく。 新たな研修の実施（家族支援の内容について SNSの内容について）の必要性
3	非常災害時の避難訓練や安全に関する研修等は実施しているものの、その実施内容を保護者へ十分に周知できておらず、「訓練を実施したとの報告がないため分からない」という意見も見られた。	日々の個別療育や保護者への相談支援を優先する中で、情報発信の十分な時間を確保できていない	ホームページやSNS等についても、頻繁な更新を目標とするのではなく、避難訓練や防犯訓練、感染症対策を中心に発信し、施設利用への安心感を高めていきたい